

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査 西脇市における調査結果の概要

令和元年9月

西脇市教育委員会学校教育課

調査日・対象・内容

- 平成31年4月18日(木)
- 小学校6年生・中学校3年生
- 教科に関する調査
国語 算数・数学 英語(中学校のみ)
- 学習、生活に関する実態・意識調査
質問紙調査

調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の西脇市における調査結果について公表します。この結果を受け、今後の本市の教育施策や学校の取組に活かしながら、本市教育を一層充実させて参ります。なお、この学力調査の結果は、子どもたちが身につけるべき学力の一部であり、これによって子どもたちのすべてを評価できるものではありませんので、ご理解をお願いいたします。

教科に関する調査結果の概要

1 平均正答率による結果の概要

		国語	算数・数学	英語
中学校	西脇市(%)	66.0	51.9	52.4
	全国(公立)(%)	72.8	59.8	56.0
	差	▲7.2	▲8.4	▲4.1
小学校	西脇市(%)	58.9	62.1	—
	全国(公立)(%)	63.8	66.6	—
	差	▲5.4	▲4.6	—

※▲7.2は全国(公立)の平均正答率より7.2ポイント下回ることを表します。

【中学校】

国語・数学においては、昨年度に引き続き、全国平均よりやや下回る状況が続いています。英語においては、今年度初めて実施されましたが、全国平均よりやや下回っていました。

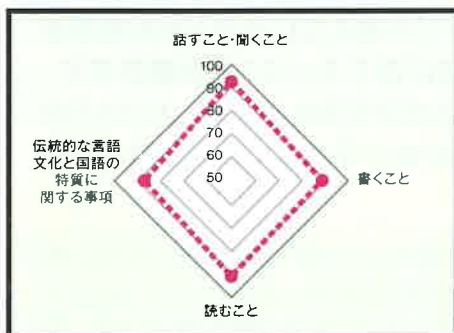
【小学校】

国語・算数ともに、知識・活用ともに改善が見られましたが、全国平均よりやや下回る状況が続いています。

2 各教科の領域別の状況

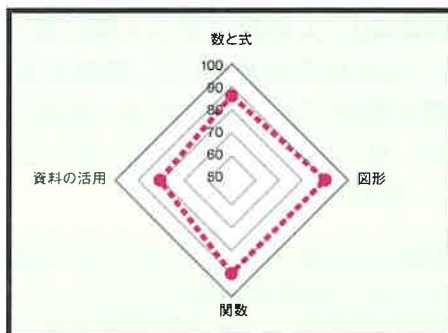
※全国平均を100として西脇市平均と比較しています。

中学校国語



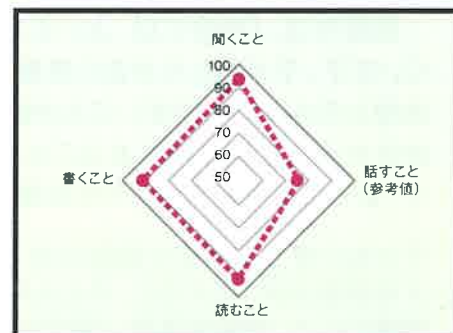
見本をもとに短歌の鑑賞文を書くことや下書きに書き加える言葉として最も適切なものを選ぶことはできていますが、略語を使うときの留意点について適切なものを選ぶことやグラフの情報をを用いて、グラフを見ていない人にも分かるように、適切な説明を書くことに課題があります。

中学校数学



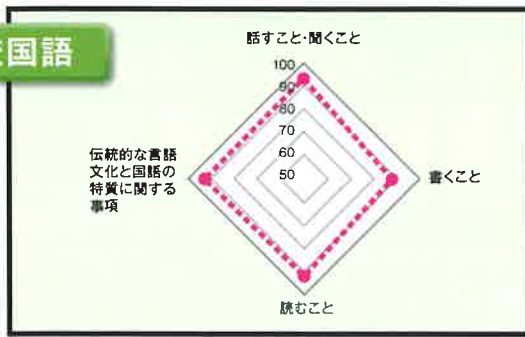
平行移動の意味の理解や反比例の表から式を求めることはできていますが、どのような四角形なら、示された結論が成り立つか、「～ならば、…になる。」という形で説明することや平均値と最頻値が異なる理由を、ヒストグラムの特徴をもとに説明することに課題があります。

中学校英語



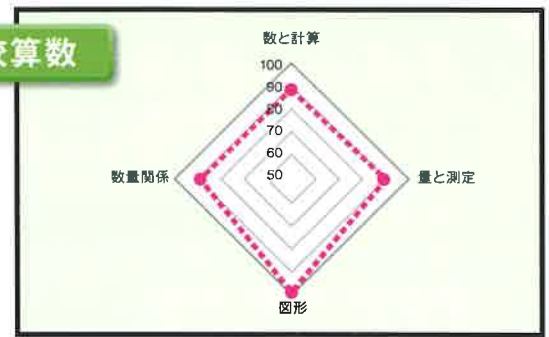
日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を正確に読み取ることや情報を正確に聞き取ることはできていますが、まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することや二人のやり取りを聞いて、即興で質問をすること、テレビを見ている二人の子どもの絵を見て何をしているのか答えることに課題があります。

小学校国語



知りたいことを調べるために、読むページを選ぶことやインタビューで聞き取った内容をまとめたものとして適切なものを選ぶこと、資料(表や地図)がどのような目的で用いられているか読み取ることができていますが、二つの調査結果の両方から言葉や文を取り上げて、わかったことを40字以上70字以内で書くことや相手に分かりやすく伝えるための工夫を読み取ることに課題があります。

小学校算数



棒グラフからわかることや複数の図形から台形を選ぶことはできていますが、「 $6+0.5 \times 2$ 」の計算や、「 $180 \div 0.6$ 」で1m分の代金を求めることが分かっているとき、「 $1800 \div 6$ 」は何m分の代金を求める式かということ、ひき算の計算の工夫を理解し、わり算でも同じように計算の工夫ができることを、「わられる数」「わる数」「商」の3つの言葉を使って説明することに課題があります。

学習、生活に関する実態・意識調査結果の概要

※全国のお答え結果と比較して、西脇市のほうが高い数値を色付けしています。

	【小学校】 (全国)	【中学校】 (全国)
○家で、自分で計画を立てて勉強をしている	80.4% (71.5)	44.3% (50.4)
○家の人と学校での出来事について話をする	80.7% (77.4)	79.1% (76.4)
○毎日、同じくらいの時刻に寝ている	77.2% (81.4)	68.3% (78.0)
○毎日、同じくらいの時刻に起きている	92.2% (91.6)	90.9% (92.8)
○朝食を毎日食べている	94.7% (95.3)	92.3% (93.1)

学校では、授業改善に取り組むとともに、宿題の出し方について昨年度に引き続き、研究を行っています。家庭では、なかなか余裕がなく、子どもと向き合う時間が確保しにくい状況ですが、西脇市では、「家の人と学校での出来事について話をする」ことができている子どもが多くいます。今後も、毎日少しでも子どもとのかかわりをもてる時間をつくるのが、子どもたちの成長の土台となります。また、寝る時刻・起きる時刻・朝食などの生活リズム、宿題をする場所と時間の確保などの学習環境を整えてください。子どもたちは、テレビやゲーム、インターネットの時間が増えてしまいがちです。子どもたちが安心して学習に取り組める環境をつくっていきましょう。

	【小学校】 (全国)	【中学校】 (全国)
○自分には、よいところがある	87.5% (81.2)	67.5% (74.1)
○将来の夢や目標を持っている	85.6% (83.8)	68.0% (70.5)
○人の役に立つ人間になりたい	94.4% (95.2)	95.3% (94.3)
○今住んでいる地域の行事に参加している	83.8% (68.0)	63.4% (50.6)

西脇市は、「自分には、よいところがある」「人の役に立つ人間になりたい」と考えている子どもたちが多くいます。子どもたちが自ら挑戦していくための土台として、自尊心を大切に育てていくことが重要です。地域とのかかわりが多いことが西脇市の強みです。これからも、周囲の大人が子どもたちに、一人ひとりがかけがえのない存在であることを伝え、良いところを認め褒めるなど、市全体で子どもたちの自尊心を育て、夢や目標をもてる子どもを育てていきましょう。

子どもの学力を伸ばす家庭の力 「平成29年度全国学力・学習状況調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究」によると、子どもの学力が高い保護者の働きかけとして、「学校の出来事、友達のこと、勉強や成績のこと、将来や進路、地域や社会の出来事やニュース等会話が多い」「テレビ・ビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間などのルールを決めている」「子どもに努力することの大切さを伝えている」「子どもに最後までやり抜くことの大切さを伝えている」ということが挙げられています。また、不利な環境を克服している子どもの保護者の特徴として、「規則的な生活習慣を整える」「文字に親しむように促す」「知的な好奇心を高めるような働きかけを行っている」「学校の行事やPTA活動に参加する」ということが挙げられています。そして、授業の復習を重視する傾向が強く、学校で習う内容の着実な定着を図る取組を行っている子どもは、不利な環境を克服しているとされています。

周りの大人たちが環境を整えることで、子どもたちの学力を伸ばし、可能性を大きく広げることができません。何か1つでも実践してみたいはかがでしょうか。